

ゆり北

1986年2月28日

第24号

発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会
東京都板橋区赤塚新町
3-32-4-403
電話03(938)9181番
発行責任者 吉柳俊孝

すべての自転車、 バイク、乳母車などに、 識別マークを貼って下さい

自転車置場に入らず通路にはみ出している自転車やバイクが目立っています。最大の原因はスペースが狭いことですが、乗られていない不用なものもあるように思われます。とりあえず現在の場所を有効に使用するために整理整頓しましょう。

新しく識別マークを作りましたので、自転車、バイク、乳母車などに貼って頂きたいと思えます。貼っていないものについては、持ち主不明ということで、登録ナンバー、オートバイのナンバープレートなど確認後、整理する方向で検討します。

各号棟の自治委員、世話人の方々がマークを配布していますので、三月中旬までに、貼布をお願いします。

なお処分したい自転車、乳母車などがあれば、荷札に名前、号棟番号、電話番号を書き印鑑を押して、わかる所にぶらさげて下さい。いずれ、リサイクルする予定です。よろしく、ご協力下さい。(交通部)



<識別マーク>

春一番火の用心

二月二十八日(金)から三月十三日(木)まで、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。空気が非常に乾燥し、強風の吹くことの多い季節、くれぐれも火の元にはご用心下さい。

統一標語は「怖いのは、『消したつもり』と『消えたはず』」です。

今年の火災予防運動の重点目標は、①火災からお年寄りや身

体の不自由な人を守ろう。②地域ぐるみで放火されない環境づくりをすすめよう。③訓練を通して防火管理を充実しよう。④異常乾燥時、強風時の火の取り扱いに注意しよう。——の四点です。

なお、この時期になると、消防署員めかした服装で、「消防署の〃方〃から来ましたが、このたび消火器の備え付けが法律

で決まりましたので、ぜひ」などと不正に消火器を売り付けるセールスマンが横行します。そんな法律はありませんし、また、消防署員が消火器を訪問販売することもありません。

火の用心とともに、サギまがい

ゆりの木事件簿

▼自転車・バイクの盗難が相次いでいます。

二月五日の夜から六日未明にかけて、細永さん宅(4-501)の六百ccのヤマハのオートバイが盗まれました。10号棟下のオートバイ置き場に置いてあったものですが、混んでいたためハ

ンドルキーはかけていなかったとのこと。そのまま押してもっていかれる状態でした。ナンバーは『練47-68』のヤマハです。お見かけの方は、ぜひお知らせ下さい。

▼ゆりの木商店街のお米屋さんにお勤めの人のバイクも盗難にあいました。が、これは買ったばかりの「タイヤ」だけを盗られたのです。念の入った作業なしにタイヤだけを盗ることはできません。これも人目のない夜中の犯行と思われる。

▼このほか、バイクにかけてあるカバーが盗まれたり、ミラー

を持っていかれたり、ガソリンを抜かれたり、部品を分解して持っていかれたり被害が、ひんばんにあります。気をつけて下さい、といっても夜寝ているのに気のつけようがありません。用もないのにバイク置き場をうろうろしている不審者に「なにをしている」と声をかけるのが、犯罪防止の第一歩です。夜中のことについては、警察の巡回に期待するほかありませんが、なにかいい知恵がありましたらお教え下さい。

▼最近、カビで困っているという苦情が多くなりました。入居後一年でポツポツとカビの苦情が出てきましたが、ここへきて急に多くなりました。

たとえば清水さん宅(11-409)では、カビのために壁紙がはがれてきてしまうほどです。今のところカビキラーでだいぶ改善した様子ですが、「壁紙の裏はカビでびっしりじゃないでしょうか」(奥さん談)と、安心できない状態です。夏はともかく、冬は寒いのでどうしても窓を開けることは少なく、しかも室内は温かですから、カビの繁殖にとって都合のいい状態なのかもしれません。

タンスの後ろ側や押し入れの奥、風呂場などが生えやすい場所です。くれぐれも、カビにはご用心下さい。

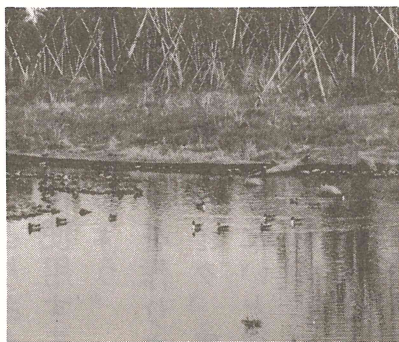
投稿

トリとめない話

光が丘公園サンクチュアリに
カモ50羽が昼寝

オープン前のサンクチュアリではカモが50羽以上いて、昼寝をしていました。造成後ずっと立ち入り禁止にしていたかいてあって、カモたちは安全な水辺であることが知ったのでしょうか。いったい何羽いるのかと思います、50まで数えました。ずいぶん来ているものだとびっくりしました。

私が行ったのは二月三日。尾がツンと長いオナガガモ、頭部が緑色で首にタイを巻いたような白線のあるマガモ（アヒルのご先祖です）、茶色の頭部に、目から首にか



けて緑色の線があるコガモ、それにまっ黒で目が金色、羽のあたりが白いキンクロハジロもいました（以上オスの色です）。オナガガモは水中に頭から首までつつこんでエサを食べていました。

この観察舎で見たのはカモだけではありません。おなじみのヒヨドリ、キジバト（ヤマバトともいいます）、くちばしと足が赤いムクドリ、それに今渡ってきているツグミ。それからカワラヒワが羽先の黄色をちらつかせて群れ飛んでいました。

観察舎はサンクチュアリの南側にあります。北側からだとも鳥が黒いシルエットになってしまいい、よく観察できないためです。池に面してコンクリートの壁があり、のぞき窓が並んであいています。この壁があるため、鳥たちは危険人物が身近にいても安心していられるのだそうです。

サンクチュアリは「聖域」という意味です。人が手を加えない、自然のあるがままの姿でいてほしいという場所でもあります。人間中心にきれいに固められた道や芝生ばかりでなく、鳥中心の場所が公園の中にあるのは21世紀の街らしいことです。今後は、鳥を放すとか実のなる木を植えるとか、人の手を加えることは一切しないで、自然にまかせる方針だと聞きました。私たちも自然に対するよいマナーを身につけたいものです。これまでの間、サンクチュアリに、ゴイサギ、コサギ、カワセミたちも姿を見せたそうですから、光が丘ぐらしにも楽しみがふえそうです。オープンはまだですが今から野鳥の図鑑を見ておいてはいかが。それから、光が丘の空をカモが飛んでいますから、飛ぶ鳥にも注目。

（阿部たい子10—809）

小学生書き初め

初春

コンクール入賞者!!

区の青少年対策下赤塚地区委員会が募集した「小学生書き初めコンクール」の入賞者が発表されました。

ゆり北団地からの入賞者は左記の通りです。

△銀賞▽一年生 秋山和子さん

三年生 越智周子さん

△佳作▽一年生 塚原 純さん

六年生 中間彩佳さん

表彰式は、三月八日（土）午後二時から、赤塚公会堂で行われる予定です。

なお、作品は二月三日から十七日まで、赤塚庁舎一階ロビーで展示されました。入賞者の皆さんおめでとう。惜しくも選にもれた皆さんも、来年を期して、ますます腕をみがいてください。

ゆりの木新年会

一月二十六日午後二時より、ゆりの木会の新年会が新町集会所で催されました。三十人前後のお年寄りが参加され、例年以上の盛り上がりを見せました。ゲストの新町町会の踊りの会の皆さんが景気よく踊れば、負けじとばかりにゆりの木会会員の歌が出る、お手伝いの自治会役員もハッスルして歌う、といった具合に、寒さを吹き飛ばすゆりの木会パワーが爆発。



この勢いで、今年も元気で過ごせるようにと、三・三・七拍子の手締めで、めでたくお開きになりました。

自治委員会開催のお知らせ

来る三月十六日（日）、今期最後の自治委員会が開かれます。時間・場所その他詳細については、後日、事務局から各自治委員に連絡が回る予定です。

今回の自治委員会は四月に予定されている『自治会総会』に向けての、最も重要な集まりです。規約の見直し、予算、決算、各部の活動等々、大切な問題が目白押しです。自治委員の方は、万障繰り合わせてお集まり下さるようお願いいたします。

なお、『総会』は今のところ四月二十七日を予定しています。